

# 個人投資家様向け会社説明資料

株式会社九州リースサービス

東証一部・福証 証券コード8596

2021年3月

1

当社の概要

2

当社事業の特徴・強み

3

中期経営計画（2018年4月～2021年3月）の概要

4

業績動向

1

# 当社の概要

# 会社概要

(2020年12月末時点)

## 企業理念・方針

### 共存共栄

企業経営に必要な付加価値の高いサービスを提供していくことにより、お客さまと共に発展・成長することを目指します。

### 地域貢献

地域に根ざした総合金融サービス企業として、地域経済の発展に貢献していきます。

**社名** 株式会社九州リースサービス

**代表者** 代表取締役社長 礒山 誠二

**設立** 1974年11月1日

**本社所在地** 福岡市博多区博多駅前4-3-18

**資本金** 29億3,330万円

**株式** 発行済株式総数 25,952,374株

**上場証券取引所** 東京証券取引所市場第一部  
福岡証券取引所

**主な事業内容**

- リース・割賦事業 各種機械設備のリース及び割賦販売、建物リース等
- ファイナンス事業 法人向け融資、プロジェクトファイナンス等
- 不動産事業 不動産賃貸、売買、仲介事業等
- フィービジネス事業 自動車リースの紹介、生命保険の募集、損害保険代理業等
- 環境関連事業 太陽光発電、LED照明レンタル

**従業員数** 153名(連結)

# 支店・関連会社

**KDA**  
キューディーアセット

コンテナ式倉庫の  
開発及び賃貸

**ケイ・エル・アイ**

省エネ機器、抗ウイルス機器等の販売・レンタル

九州リースサービスグループ  
**ケイエルエス信用保証**

不動産ローンの保証業務

- 本社
- 支店
- 関連会社

**KL合人社**

マンション管理事業

本社

北九州支店

久留米支店

長崎支店

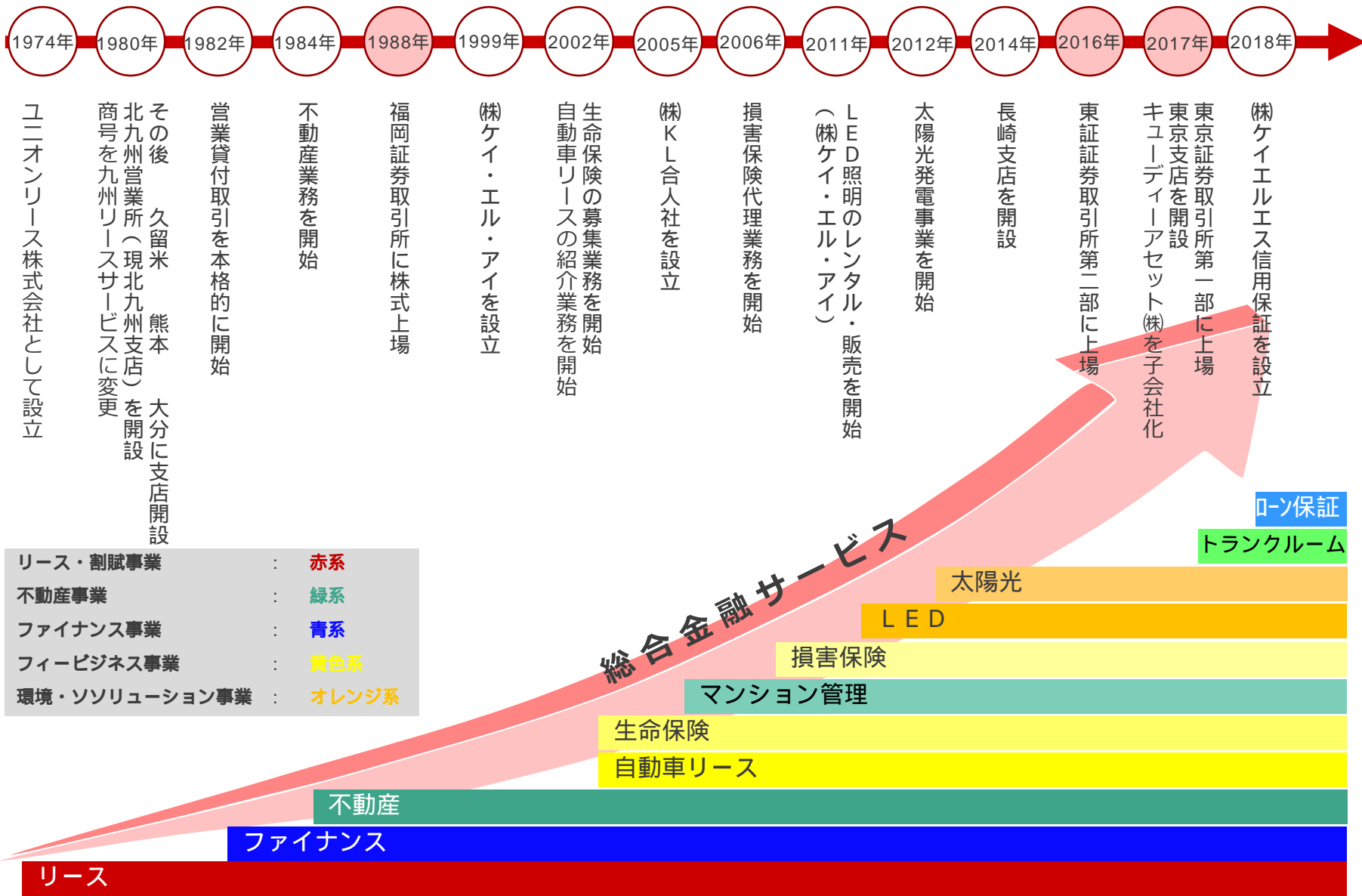
熊本支店

大分支店

東京支店



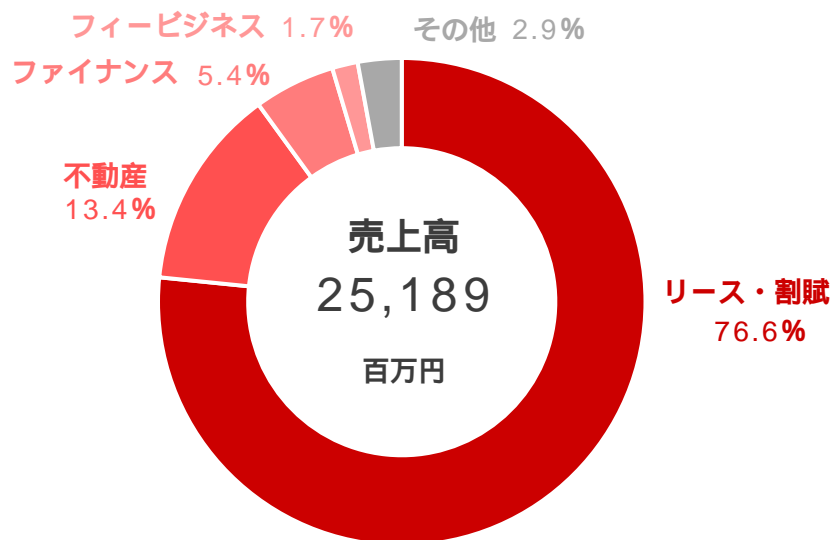
# 会社沿革



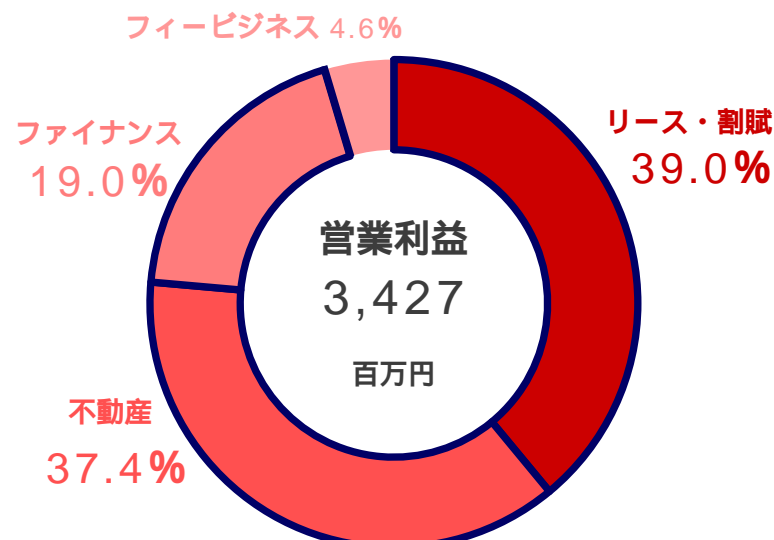
# 事業ポートフォリオ (2020年3月期)

リースを中心とした、主要4事業のバランス経営

【売上高】



【セグメント利益】



(百万円)

セグメント	事業内容	売上高		営業利益	
		金額	前期比	金額	前期比
リース・割賦事業	各種機械設備、航空機、建物などのリース及び割賦販売	19,300	+23.4%	1,545	+24.4%
不動産事業	不動産賃貸、売買、仲介事業等	3,385	49.3%	1,482	20.5%
ファイナンス事業	法人向け融資、プロジェクトファイナンス等	1,356	2.4%	750	+0.6%
フィービジネス事業	自動車リースの紹介、生命保険の募集、損害保険代理業等	432	+1.5%	181	+3.5%

2

## 当社事業の特徴・強み



# リース（LEASE）とは

リース会社は、ユーザー（企業・個人事業者等）が選定・指定した設備等を買ってユーザーに比較的長期間貸し出すことでリース料を受領

リース取引は、主にファイナンスリースと、オペレーティングリースに分類

## ファイナンスリース

ファイナンスリースは、以下の2点を満たす取引。

- 1.リース契約期間中、中途解約が禁止されていること（ノンキャンセラブル）。
- 2.リース料の総額で、設備の購入費用と諸費用が概ね（90%以上）負担されること（フルペイアウト）。

物件価額

リース料総額

## オペレーティングリース

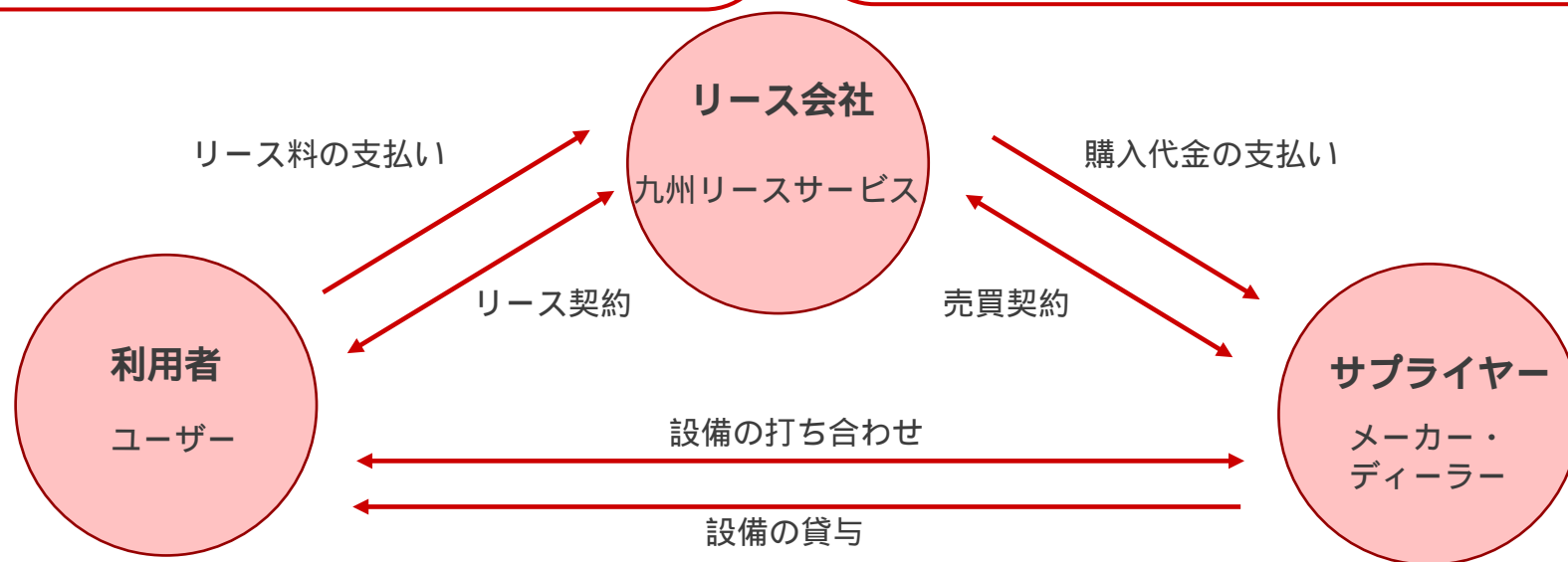
オペレーティングリースは、ファイナンスリース以外の取引。

例）自動車など一定の残存価格が設定されたリース取引は、ファイナンスリースの要件の「フルペイアウト」を満たさないため、オペレーティングリースに分類

物件価額

リース料総額

残価



# リース、割賦、レンタル、借入の違い

	リース	割賦 (延払売買)	レンタル (賃貸)	借入 (購入)
物件の種類	ユーザーが指定	ユーザーが指定	所有物件からユーザー選択	ユーザーが選定・調達
所有権	リース会社	ユーザー	レンタル会社	ユーザー
契約期間	中長期 (通常2年以上)	お支払回数2回以上 (通常5年以内)	短期 (時間、日、週、月単位)	長期 (耐用年数相当)
保守点検	原則、ユーザー	ユーザー	レンタル会社	ユーザー
料金	物件の本体価格 + 税金、 リース会社手数料、 動産保険料など	物件の本体価格 + リース会 社手数料	レンタル料	借入元金 + 支払利息
経費処理	リース料	減価償却費 固定資産税・自動車税など 保守料 支払利息	レンタル料	減価償却費 固定資産税・自動車税など 保守料 支払利息
中途解約	不可	繰上償還可能	随時又は拘束期間終了後	期限前弁済可能
管理事務	リース会社	ユーザー	レンタル会社	ユーザー
契約終了後	返還又は再リース	所有権留保の解除	返還又はレンタル更新	—

# リースのメリット・デメリット

ユーザー

## メリット

### 1. 設備導入に際し多額の初期費用が不要

月々わずかなリース料で設備導入が可能。まとまった資金を準備する必要がないため、効率的な資金運用が可能

#### 資金繰り改善へ

運転資金や新規事業に資金を転活用できる

### 2. 事務手続き・管理手続きの合理化・簡素化

設備購入時の購入資金の手当て・損害保険への加入・減価償却（オペレーティング・リースの場合）・諸税の納付などはリース会社が実施

#### 事務作業のアウトソーシング機能がある

### 3. 設備の陳腐化を軽減 / 廃棄もリース会社に任せられる

技術革新に遅れることなく計画的に最新設備との更新が可能

リース期間が終了すれば、リース会社が物件引き取り適切に処理

#### 環境にも優しい

## デメリット

### 1. 中途解約ができない場合がある

ファイナンスリースの場合は、税法上リース期間中に中途解約は不可。解約する際は、残債を一括で支払って強制的に契約満了する必要

### 2. 所有権がない

リースしている設備機械の所有権は、リース会社にあるため、リース期間が終了した後も、リースしている設備の使用を希望する場合は再リースや買取の手続きが必要

# あらゆる場面にリースが活躍

## コンビニ・スーパー

POSレジ、空調設備、厨房設備、自動販売機、什器



## オフィス

ファクシミリ、複合コピー機、通信機器  
サーバー、パソコン、ソフトウェア、電話交換機



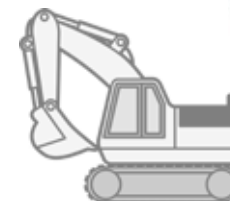
## 製造現場

旋盤、マシニングセンタ、射出成形機、鍛圧機械  
産業用ロボット



## 建設現場

油圧ショベル、クレーン、ブルドーザ



## 運輸業界

バス、トラック、航空機、タクシー



## 病院・クリニック

MRI、CTスキャナ、超音波診断装置  
コロナウイルス対策機器



## 省エネ施設

太陽光発電設備、 LED照明、 コージェネレーションシステム

# リース業界の動向について (2020年3月現在)

独立系

**オリックス (8591)**  
 太陽光、空港運営、生保など多角に  
 売 2兆2,803億円 経 4,125億円

**中道リース (8594)**  
 北海道地盤  
 売 395億円 経 9億円

**日立キャピタル (8586)**  
 海外展開注力。グループ連携強化  
 売 4,640億円 経 425億円

**リコーリース (8566)**  
 医療・介護に強み。太陽光を強化  
 売 3,322億円 経 170億円

**NECキャピタルソリューション (8793)**  
 情報機器に強い。ベンチャー投資も  
 売 2,207億円 経 90億円

**NTTファイナンス**  
 クレジットカード事業も展開  
 売 4,538億円 経 185億円

**九州リースサービス (8596)**  
 九州の顧客比率高い  
 売 251億円 経 35億円

2020/9/25  
 業界3位 三菱UFJリース  
 業界6位 日立キャピタル  
 の合併が発表  
 (2021年4月予定)

**JA三井リース**  
 農機など農業分野強い  
 売 4,671億円 経 223億円

三井物産が出資

**みずほフィナンシャルグループ**

**東京センチュリー (8439)**

航空機リース大手、提携通じ拡大  
 売 1兆1,665億円 経 911億

伊藤忠商事が出資

**みずほリース (8425) (旧興銀リース)**

大企業向け。医療・環境伸ばす  
 売 5,392億円 経 267億円

**芙蓉総合リース (8424)**

海外強化。航空関連など強化  
 売 7,123億円 経 440億円

**三菱UFJリース (8593)**

海外拠点の体制整備強化

売 9,237億円  
 経 943億円

三菱商事が出資

**三菱UFJ  
 フィナンシャル・グループ**

**東銀リース**

事務受託事業も展開

**三井住友フィナンシャルグループ**

**三井住友  
 ファイナンス&リース**

航空機リース大手、新エネ拡大  
 売 1兆5,137億円 経 903億円

住友商事が出資

2020/11/20  
 業界2位 三井住友ファイナンス&リースが不動産投資ファンド  
 「ケネディクス」に最大1320億円でTOB子会社化、不動産分野  
 展開拡大

ケネディクス・日本最大級のアセットマネジメント会社  
 ・賃貸住宅や商業施設などの不動産投信(J-REIT)を運用  
 9月末運用資産残高は2.5兆円

銀行・商社系

メーカー系

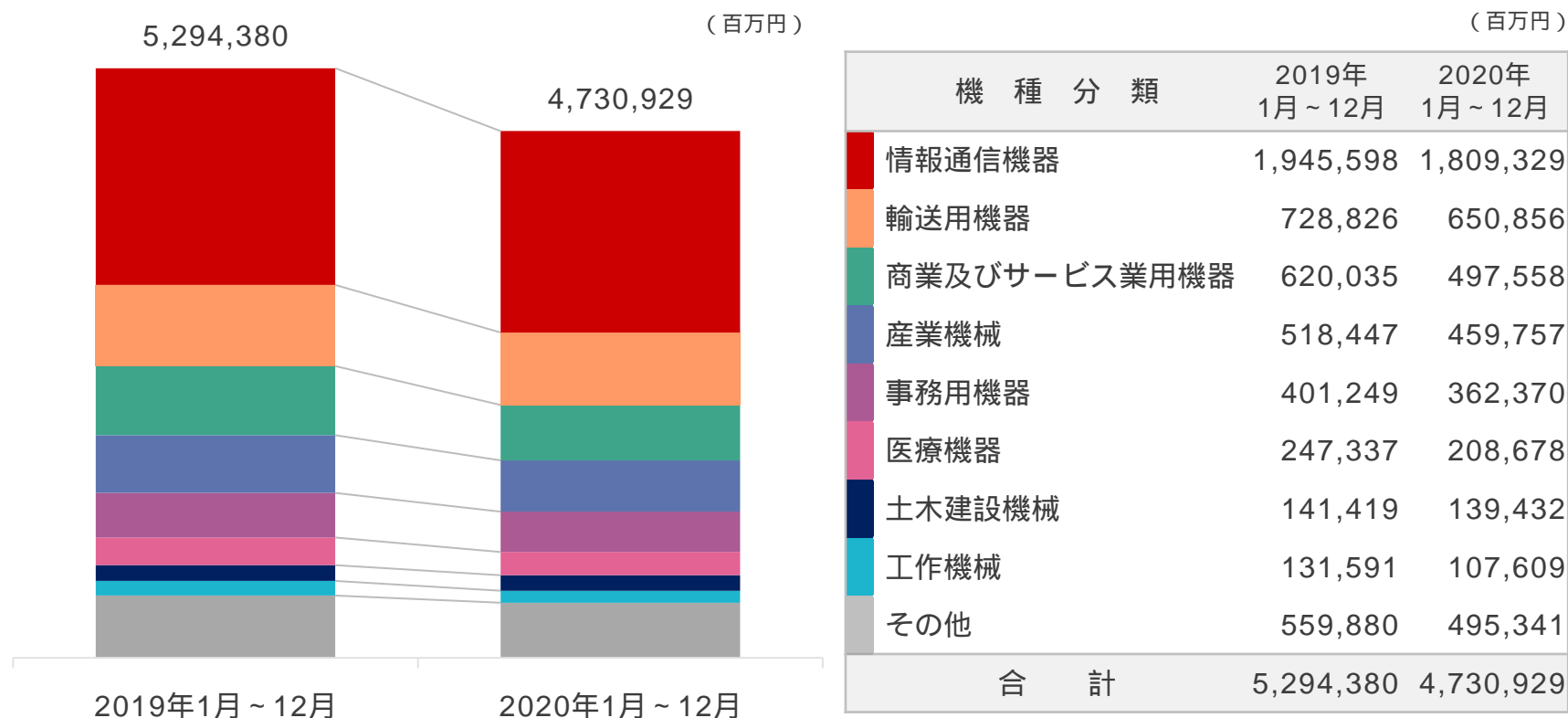
その他

会社名の下に4桁の数字は証券コード

出所 日経業界地図より当社作成

# 国内リース取扱高推移

コロナ禍の影響もあり、取扱高は、5.3兆円から4.7兆円と1割以上減少  
商業・サービス業関連機器は2割以上減少



(出典 社団法人リース事業協会資料より)

## 九州内他社比較（2020/3期）

## 九州・沖縄に本社を置くリース会社業績

## 【利益】

(百万円)

順位	会社名	経常利益	経常利益率
1	(株)九州リースサービス	3,317	14.1%
2	J A三井リース九州(株)	1,471	4.4%
3	(株)キューコーリース	906	9.0%
4	肥銀リース(株)	678	4.0%
5	(株)琉球リース	588	3.5%
6	(株)おきぎんリース	576	5.0%
7	鹿児島リース(株)	479	3.7%
8	大分リース(株)	380	4.6%
9	J R九州F Gリース(株)	159	3.1%
10	佐銀リース(株)	99	1.3%

(出典 帝国データバンク調書より)

## 【資産】

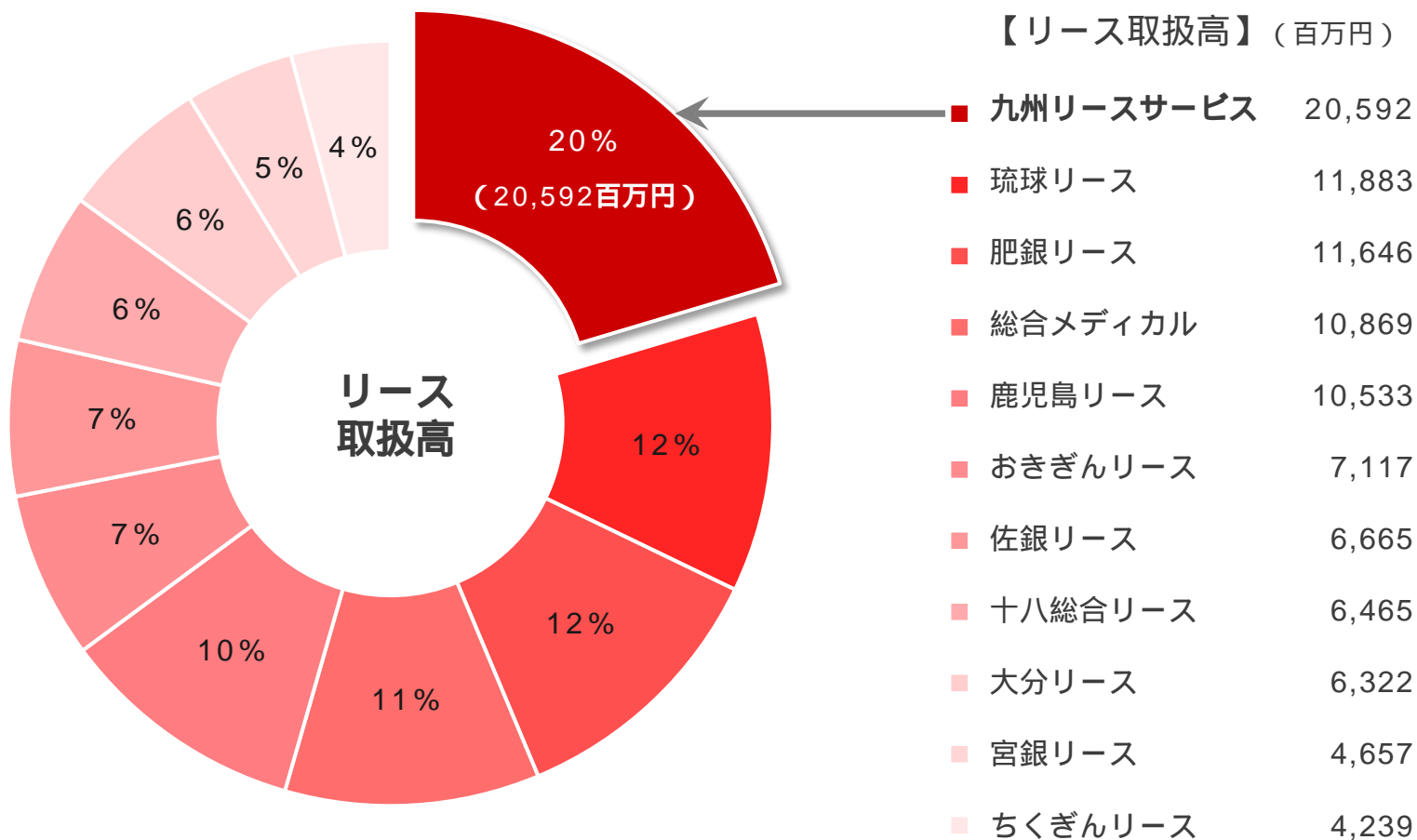
(百万円)

	当社金額	九州
リース債権、 リース投資資産、 割賦債権 残高	65,074	1位/11社
貸貸資産 残高	30,526	1位/7社
営業貸付金 残高	25,296	1位/5社

(リース事業協会 正会員86社のうち数値公表会社を集計)  
(出典 社団法人リース事業協会資料より)

# 九州内他社比較（2020/3期）

九州・沖縄に本社を置くリース事業協会正会員11社



リース取扱高 当期間の新規契約高 (出典 社団法人リース事業協会資料より)



# 当社事業の特長・強み・・・総合リース業

## リース事業

- 46年の歴史による情報基盤
- ・取引先数約6,000社
- ・地域金融機関8行との提携  
多様な商品ラインナップ
- ・情報機器、建設機械、商業用設備  
航空機、建物リース、再生エネルギーetc

## ファイナンス事業

- 多様化するニーズに対応した融資  
審査・実行のスピード力  
担保不動産評価の目利き力

## 不動産事業

- 保有物件からの安定賃貸収入  
(賃貸物件数 28物件稼働率99.5%)  
地場不動産情報ネットワーク
- ・豊富な優良物件情報
- ・当社取引先への情報提供

## 情報加工によるリース、 ファイナンス事業への展開

## フィービジネス・その他事業

- 取引先(約6,000社)へのクロスセルが可能
- 自動車リース管理台数 12,000台超
- 太陽光発電容量 21.79MW(1発電所合計)

## 九州で唯一の独立系

地域密着の営業展開により、迅速できめ細かい対応  
九州エリアを中心に、企業規模を問わず多彩な取引先を確保  
独立系ならではの「総合商品力」+ 大手にない「地場情報力」

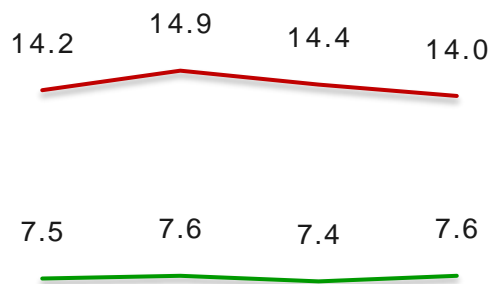
価格競争に巻き込まれないサービス  
を提供

# 収益性・生産性指標の推移

## 収益性指標、生産性指標は安定的に推移

### 【経常利益率】

(%)

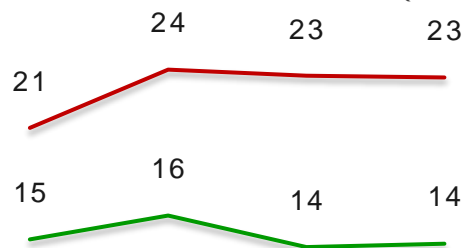


2016年度 2017年度 2018年度 2019年度

— 当社 — 総合リース9社平均

### 【一人当たり経常利益】

(百万円)



2016年度 2017年度 2018年度 2019年度

— 当社 — 総合リース9社平均

### 【比較会社 9社】

- ・芙蓉総合リース ( 8424 )
- ・みずほリース (旧興銀リース) ( 8425 )
- ・東京センチュリー ( 8439 )
- ・リコーリース ( 8566 )
- ・日立キャピタル ( 8586 )
- ・オリックス ( 8591 )
- ・三菱UFJリース ( 8593 )
- ・中道リース ( 8594 )
- ・NECキャピタルソリューション ( 8793 )

#### 経常利益率

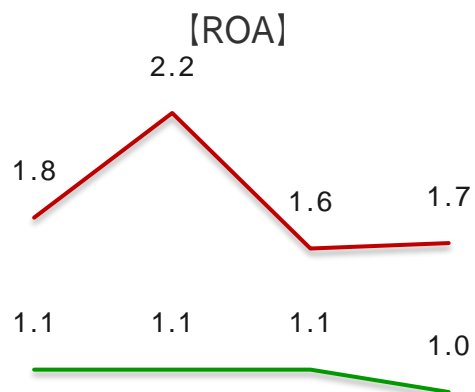
経常利益の売上高に対する比率。企業の収益性を示す指標として広く使用。財務活動も含めた事業全体の収益性を示すため、比率が高いほど好ましいことになる。

#### 一人当たり経常利益

経常利益を従業員数で除した数値。営業活動や財務活動から、1人当たりいくら利益を出したかを示す指標。数値が高いほど、従業員の生産性が高いことになる。

# 効率性指標の推移

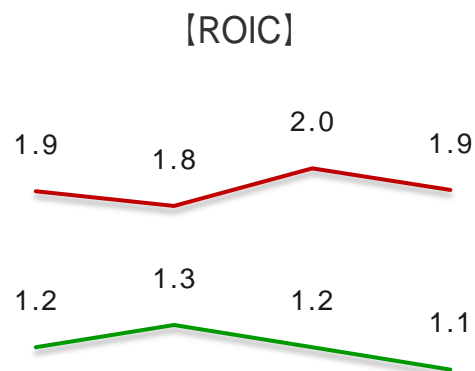
## 資本効率性指標は安定的に推移



2016年度 2017年度 2018年度 2019年度

— 当社 — 総合リース9社平均

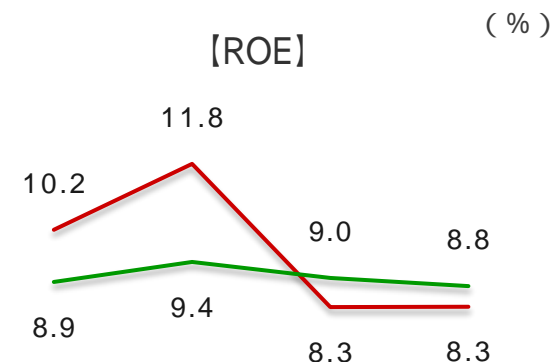
ROA（総資産利益率）  
資産全体に対して、どれだけの利益が生み出されているのかを測る指標。ROAが高いほど、効率よく利益を出していることになる。



2016年度 2017年度 2018年度 2019年度

— 当社 — 総合リース9社平均

ROIC（投下資本利益率）  
企業が事業活動のための投下した資本から、どれだけの利益を生み出したかを測る指標。ROICが高いほど、効率的に資金を使って稼いでいることになる。



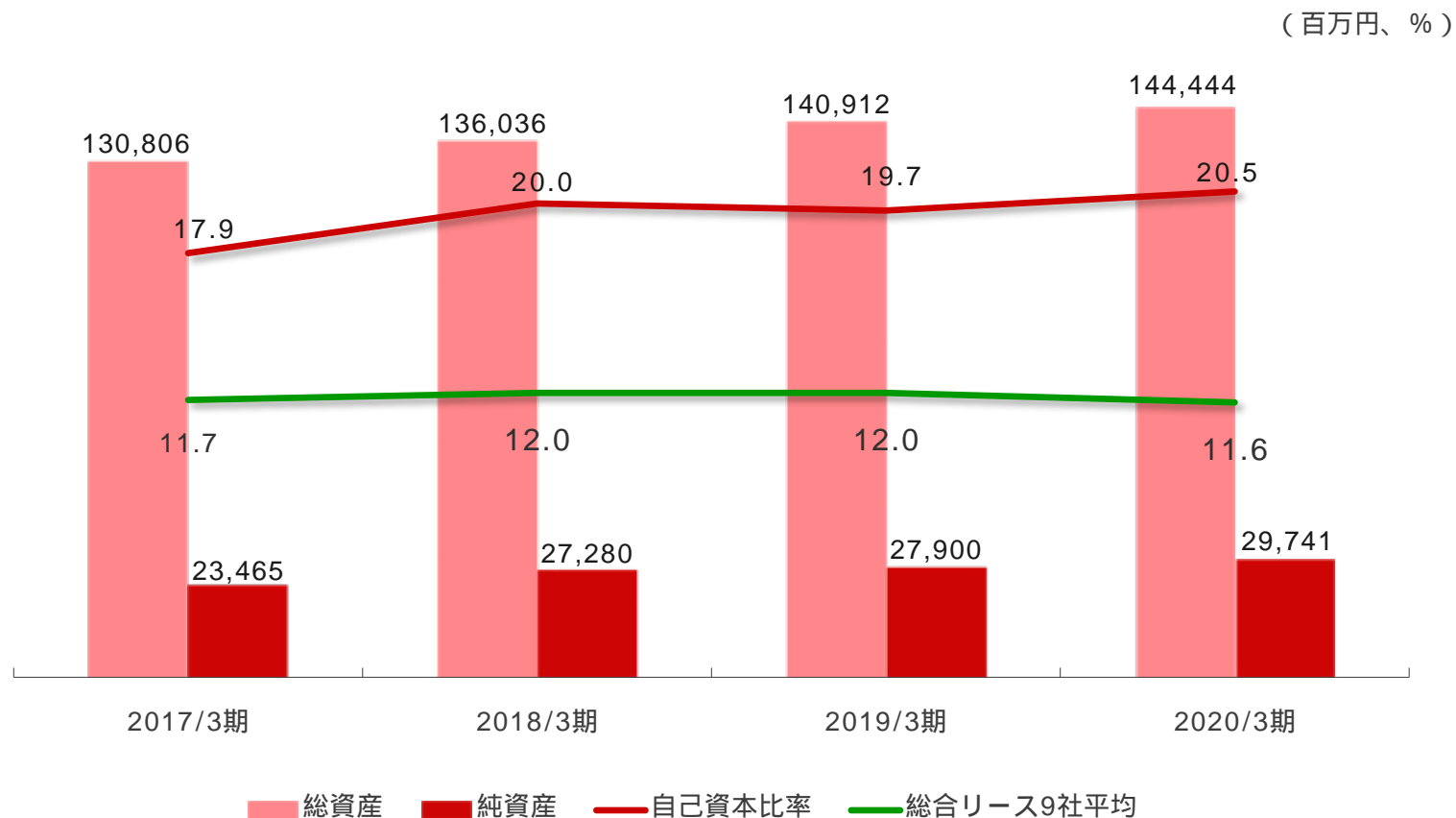
2016年度 2017年度 2018年度 2019年度

— 当社 — 総合リース9社平均

ROE（自己資本利益率）  
投資家が投下した資本に対し、企業がどれだけの利益を上げているかを表す重要な財務指標。ROEの数値が高いほど経営効率が良いと言える。

# 総資産・純資産・自己資本比率の推移

- 自己資本比率は20%前後で安定的に推移



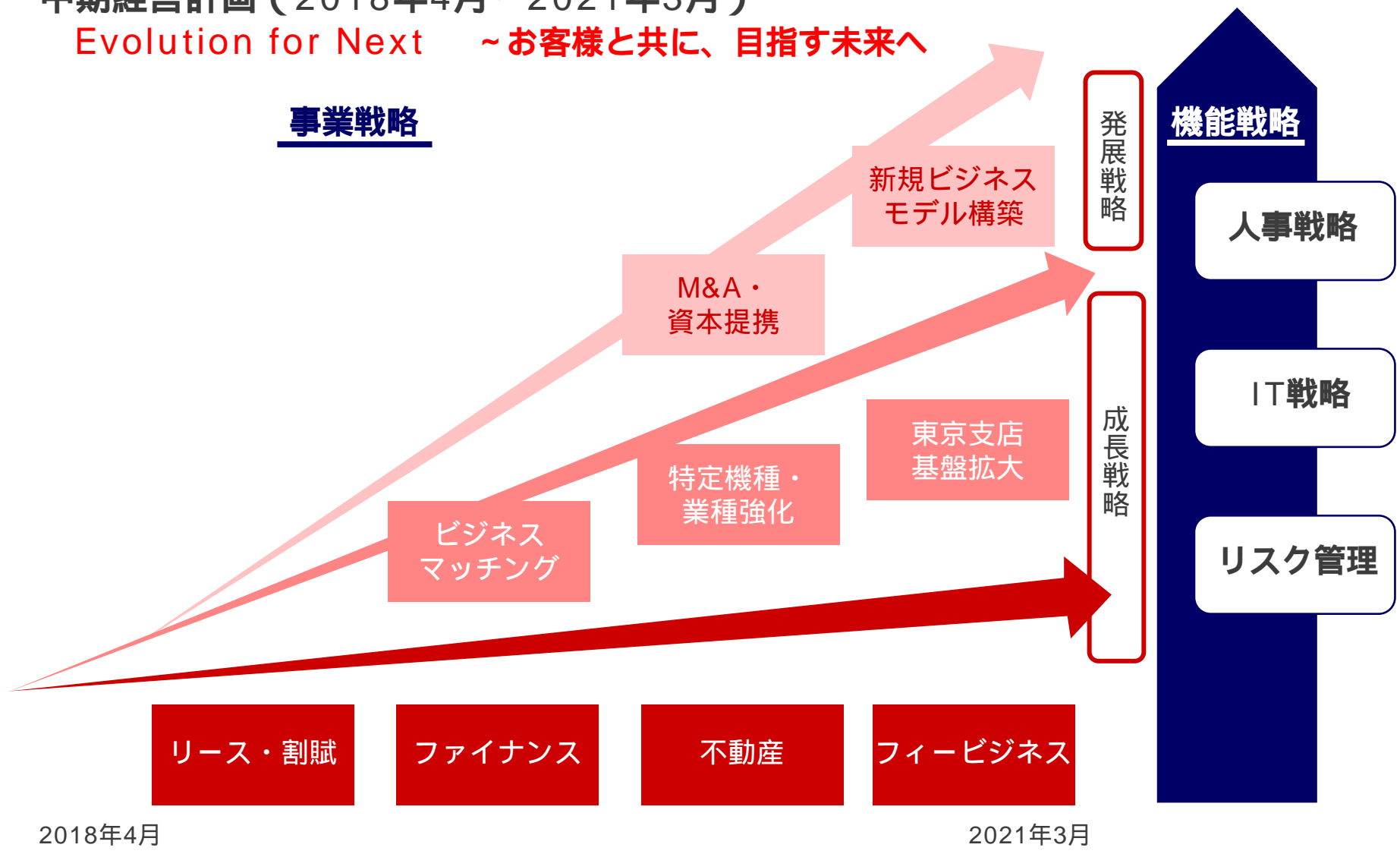
3

## 中期経営計画（2018年4月～2021年3月） の概要

# 中期経営計画の概要 . . . イメージ

中期経営計画 (2018年4月～2021年3月)

Evolution for Next ~ お客様と共に、目指す未来へ



# 中期経営計画の概要

・・・基本方針・重点施策

成長性・安定性を有する進化した一層強固な企業基盤を構築

## 基本方針

### 企業力強化

- ・業務効率化による対外営業力のパワーアップ
- ・情報力、人材力強化による高付加価値の創造

### 事業領域の拡大

- ・当社の強みを発揮できる分野へ事業領域を拡大  
(成長分野、事業開発型など地場情報を活用した  
様々な領域へ)



## 重点施策

### 事業戦略

情報基盤の拡大・深耕  
充実した総合金融サービスの提供  
新規事業による基盤拡大



### 機能戦略

業務の効率化  
人材の採用と育成  
リスク管理とCSR

これまで蓄積したビジネスノウハウを最大限活用し、提携金融機関からの情報を軸とした情報収集力の強化、深耕が難しかった新分野への挑戦を進め、将来に向けた成長の基盤構築

## 継続分野（顧客基盤拡大・強化）

### 提携金融機関との連携強化

提携金融機関からの情報収集・処理体制を確立、顧客網の最大活用による営業基盤を拡大

### 東京支店

最新ビジネスモデル等の首都圏での情報収集チャンネルを拡大し、全社営業資産積み上げを加速

## 新規分野（成長業種・特定機種の深耕）

### 機種・業種

強みである、商業・サービス業の営業基盤拡大は持続し、医療機器・工作機械等の分野への深耕に挑戦

# 中期経営計画の概要 . . . 事業戦略

周辺事業拡大を基本とした中長期的な事業投資  
共同出資・業務提携での当社機能提供による新規事業

## 新事業/新エリア

### 【既存顧客との共同事業】

- ・顧客事業への出資
- ・金融と事業参画の融合
- ・アセット多様化
- ・異業種への共同進出

### 【海外案件取組 ノウハウ構築】

## 新領域/M&A

### 【金融不動産市場に左右 されない事業への進出】

- ・新領域での事業
- ・ベンチャー投資
- ・農業、AI・IOT

発展戦略

顧客基盤・  
情報ネットワーク

- ・設備投資サポート
- ・資産効率化/業務効率化
- ・税務/財務サポート
- ・補助金活用/エコリース
- ・開業(創業)支援 etc

リース・  
割賦事業

ファイ  
ナンス  
事業

- ・SPC組成
- ・プロジェクトファイナンス
- ・エクイティ投資
- ・フリッジファイナンス
- ・不動産ローン etc

融合

不動産  
事業

フィー  
ビジネス・  
その他事業

- ・LED等レンタル
- ・再生可能エネルギー
- ・ストレージ
- ・保証業務
- ・マンション管理 etc

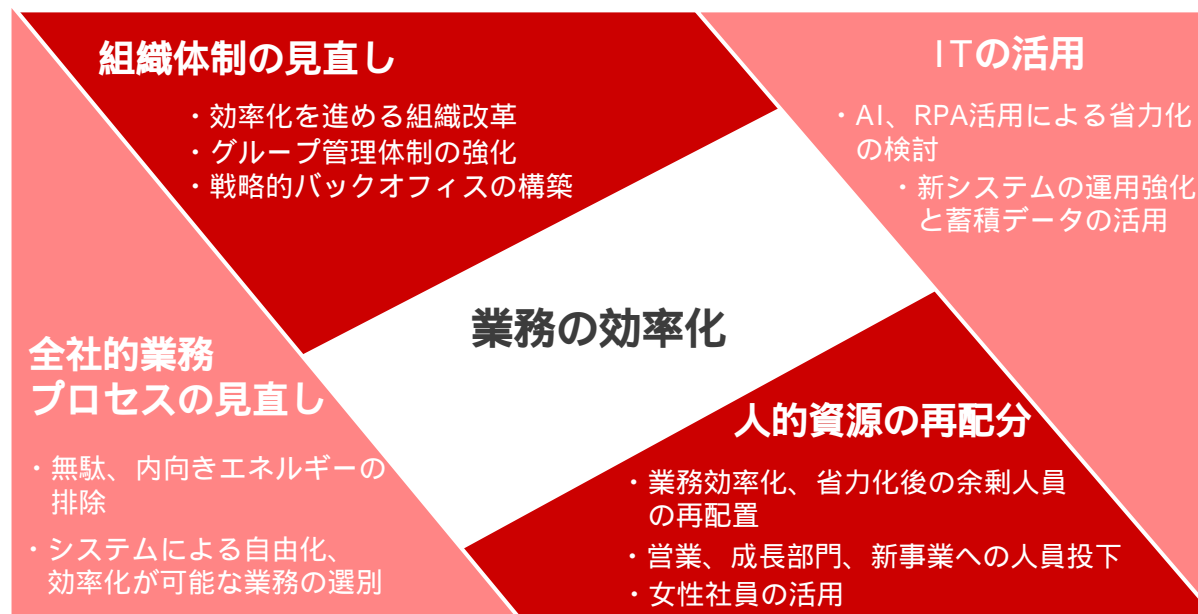
成長戦略

当社ならではのファイナンス機能+不動産投資機能を活かし  
入口から出口までの総合的コンサルティングを提供



# 中期経営計画の概要

・・・機能戦略



## リスク管理とCSR

### リスク管理強化

- ・ 審査、債権管理能力の向上
- ・ 経営リスクに対するセキュリティ強化

### CSR

- ・ コーポレートガバナンスの継続的向上への取組み
- ・ コンプライアンスの徹底

### 社会・地域への貢献

- ・ 企業理念に基づく本業を通じた地域経済の活性化支援
- ・ 役職員によるボランティアや地域活性化活動への積極的参加とそれに対する支援・評価体制の構築

# 中期経営計画での取組み内容

## 企業力強化への取組み

### 「 企業ブランド向上への取組み

- ・ 当社初のテレビCM放映
- ・ 地域の自然や伝統技術・文化を紹介するテレビ番組への協賛
- ・ 当社株式の貸借銘柄選定



### 「 組織体制の見直し

- ・ 本部制を廃止して組織をフラット化
- ・ 契約関連事務業務の統合
- ・ 推進、強化業務の専担部署を新設（新規事業・M & A、事業パートナーとの連携、財務）

### 「 全社的業務プロセスの見直し、ITの活用

- ・ RPAの導入による事務作業の自動化
- ・ 電子契約書導入への取組み

### 「 コーポレートガバナンスの充実

- ・ 指名報酬諮問委員会の設置

### 「 CSR活動の推進

- ・ 飲酒運転撲滅活動を行うNPOへの支援
- ・ 九州北部豪雨などの被災地への支援



# 中期経営計画での取組み内容

## 事業領域の拡大への取組み

- 「 提携金融機関やサプライヤー、不動産開発業者等の多様なアライアンス先との連携・協働
- 「 トランクルーム事業の本格稼働（キューディーアセット(株) / 連結子会社）
- 「 金融機関の不動産ローンへの保証業務開始（株）ケイエルエス信用保証 / 連結子会社）
- 「 建物リースを活用した複合商業施設の開発・・・Avant Mall菊陽（熊本）等
- 「 九州経済の活性化を支援する新たなファンドを金融機関と共同で設立
- 「 IT分野特化型ファンドへの出資
- 「 農畜産業・医療分野への取組み拡大
- 「 中古機械シェアリング事業の展開
- 「 地場優良企業との共同プロジェクトへの取組み
  - ・ 開発型SPCを活用したオフィスビル開発（福岡市中央区）  
民間都市再生整備事業計画認定
  - ・ 関東における物流施設事業

【複合商業施設 Avant Mall菊陽】



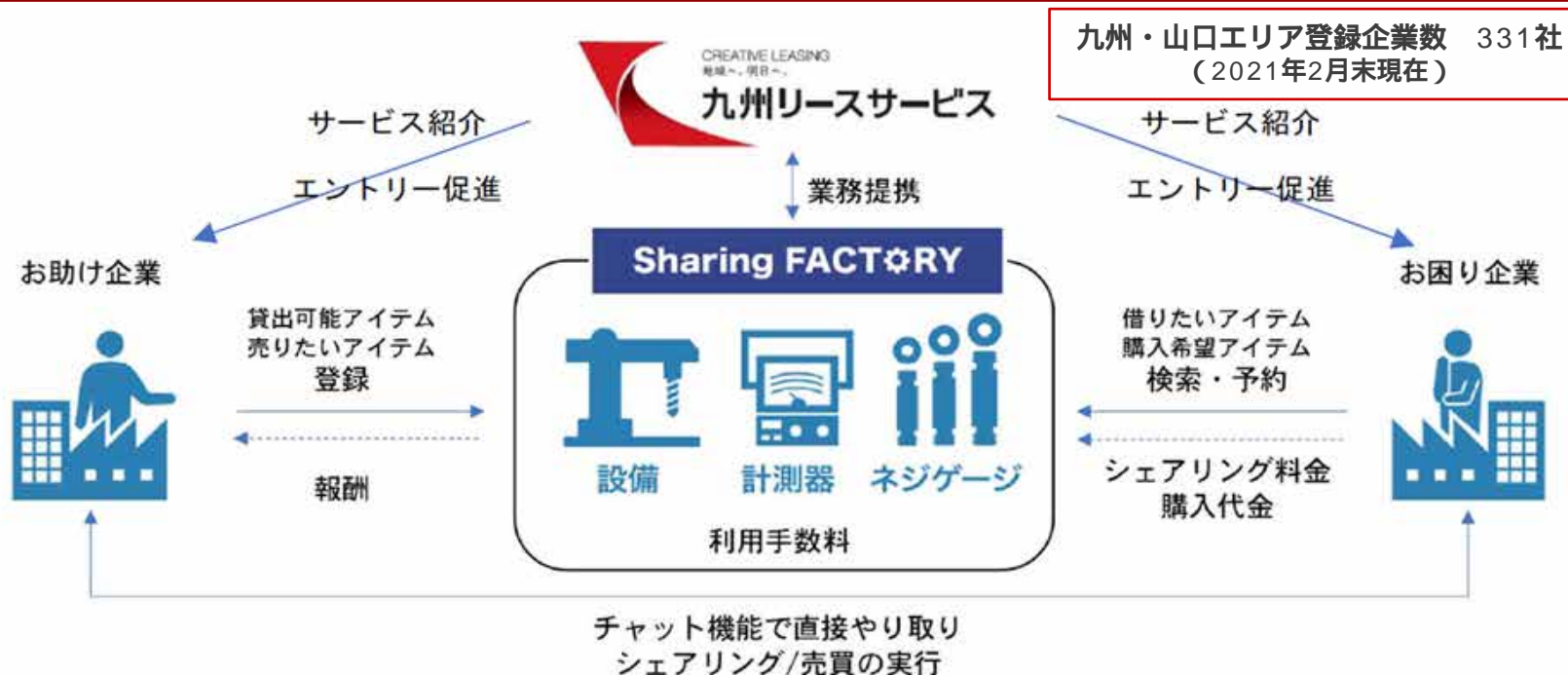
【複合商業施設 クロス21UTO（熊本）】

# トピックス

## 新規事業による基盤拡大

### (株)Sharing FACTORY との業務提携による中古機械シェアリング事業の展開

「所有」から「利用・共有」、あるいは「モノ」の提供から「サービス」の提供へとビジネス（ニーズ）の変化に対応  
 本事業が推進する低稼働もしくは遊休となっている資産の有効活用や収益化を通じて、持続可能な社会の実現に貢献



# トピックス

## 事業領域の拡大

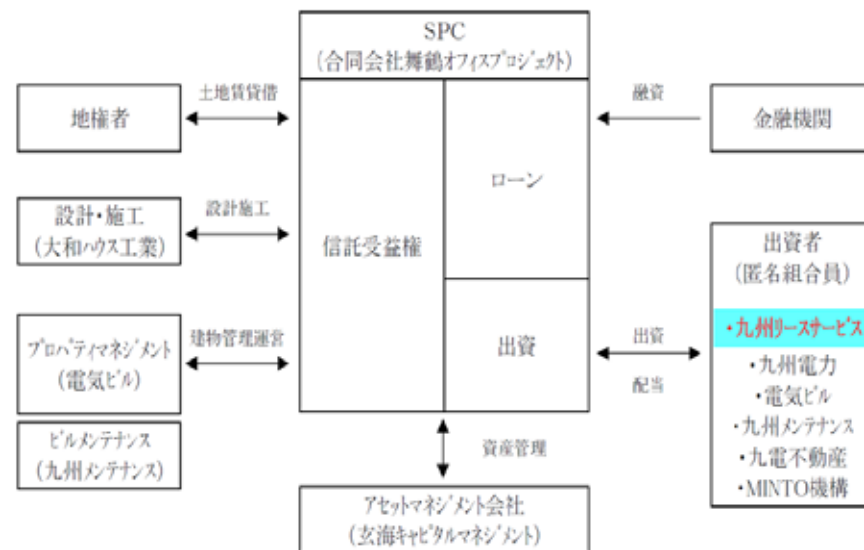
### 福岡市中央区での開発型SPCを活用したオフィスビル開発事業へ参画

当社のほか、九州電力株式会社および同グループ企業と、民間都市開発推進機構の共同出資により設立された合同会社舞鶴オフィスプロジェクト（SPC）がオフィスビルを開発のうえ、運営するもの

【完成予想イメージ】



<スキーム概略図>



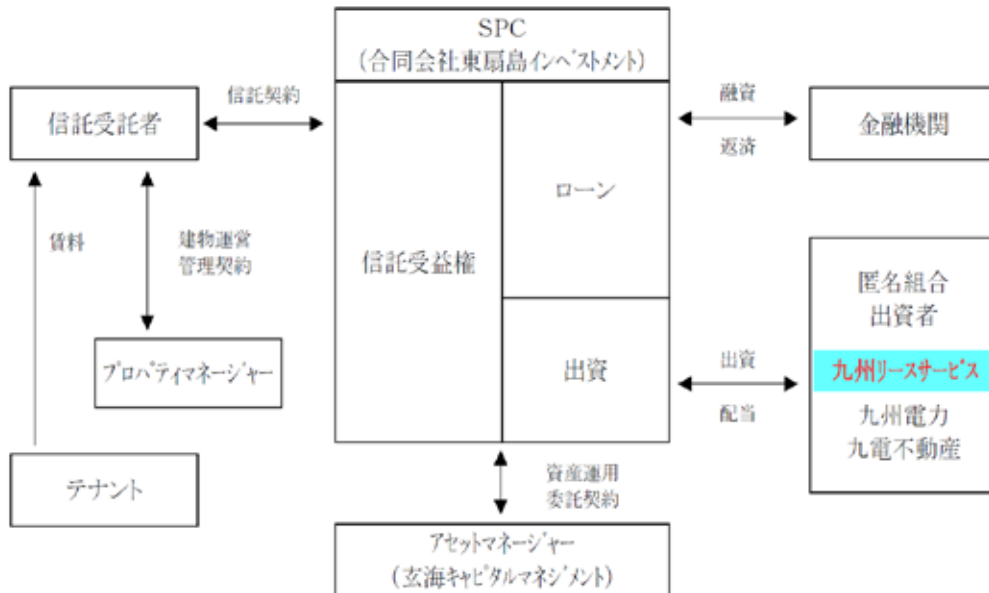
# トピックス

## 事業領域の拡大

神奈川県川崎市の物流施設（冷蔵倉庫）を取得するファンドへ出資、  
物流施設事業に参画

不動産アセットマネジメント会社である株式会社玄海キャピタルマネジメントが組成し、  
当社のほかにも、九州電力株式会社および九電不動産株式会社が出資する私募ファンドにて  
物流施設を取得し、その賃料収入を原資とした配当収入を得るもの











<スキーム概略図>



# トピックス

## SDGsへの取り組み

当社の企業理念である「共存共栄」「地域貢献」に基づく事業活動、事業戦略を通じて貢献するSDGs項目を整理し、重要度や貢献度に応じて優先して取り組むゴールを定め推進しております。

SDGs項目	取組内容	具体的取組例
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明レンタル事業 LED照明に切り替えたことにより年間1,200トンのCO2排出量削減</li> <li>・太陽光発電事業 保有する発電所6箇所ですべて2019年度CO2削減量は8,700 t</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロス21UTO発電所 / 熊本県宇土市</li> <li>・相生発電所 / 兵庫県相生市</li> <li>・嘉麻発電所 / 福岡県嘉麻市</li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物リース事業 地方への積極的な進出によるまちづくりを促進</li> <li>・社会問題解決への取組み ナンバー認証機能付駐車場管理システムを導入し、出入口付近での渋滞が緩和され、交通事故の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Avant Mall 菊陽 / 熊本県商業施設</li> <li>・クロス21UTO / 熊本県商業施設</li> <li>・駐車場管理システム / 立体駐車場</li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リースによる設備投資 作業の効率化や生産性向上につながる最新設備を提供 イニシャルコストを抑制しながら治療効果の高い医療機器の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業分野へのリース</li> <li>・医療分野へのリース</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンドへの出資 事業基盤強化・一層の成長・事業承継を支援し、更なる地域経済の活性化に寄与するファンドを設立</li> <li>・スタートアップ企業の支援 豊かな未来を創造するアイデアを持ったスタートアップ企業を応援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州活性化2号投資事業有限責任組合</li> <li>・Fukuoka Growth Next</li> </ul>
  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元TV番組への協賛を通じて地域の自然保護をサポート</li> <li>・広告活動 地元テレビ放送局ミニ番組の協賛スポンサーとなり、自然の豊かさを守ることに貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『STORY 未来に残したいふるさとの風景』 毎週日曜日 17:55 ~ 18:00 九州朝日放送にて放送中</li> </ul>

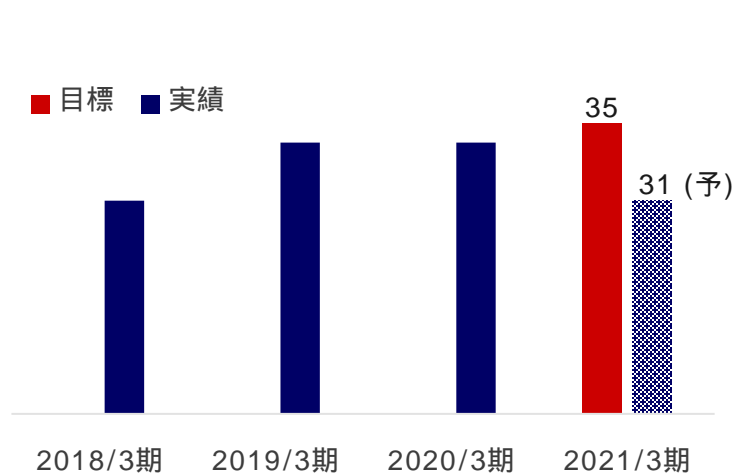
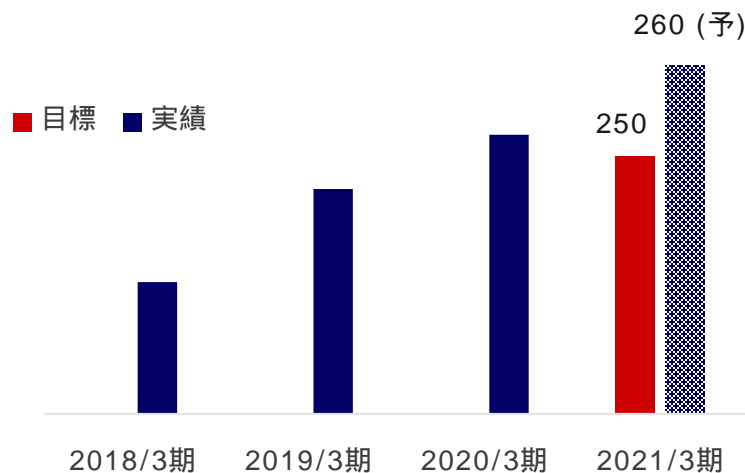
# 中期経営計画の概要

・・・数値目標

目標項目	2018年3月 (実績)	中期経営計画 (2018年4月～2021年3月) 2021年3月 (目標)	2019年3月 (実績)	2020年3月 (実績)	2021年3月 (予想)
売上高	232億円	250億円	244億円	251億円	260億円
営業利益	31億円	35億円	34億円	34億円	31億円
営業資産	1,220億円	1,330億円	1,246億円	1,285億円	-
純資産	272億円	320億円	279億円	297億円	-
配当性向	10%	20%	13%	14%	-

【売上高】

【営業利益】





4

# 業績動向

# 決算実績と業績予想の概要

保有資産入れ替えに伴う大型の販売用不動産売却もあり、増収増益で推移  
新型コロナウイルス感染症の影響を受けるも、今期計画に対して順調に進捗

単位 百万円、%

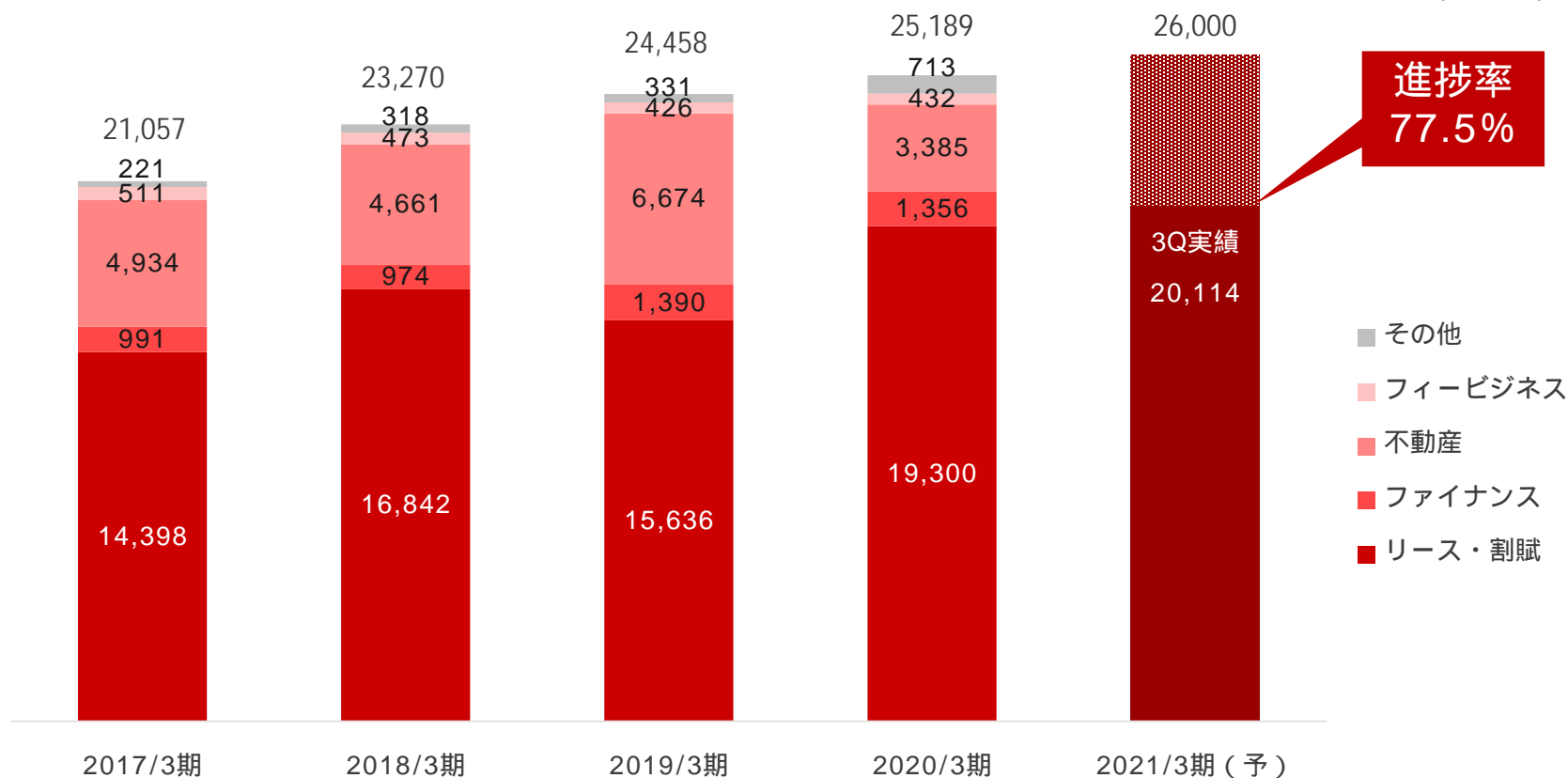
	2020/3期 実績	2021/3期予想		2021/3期3Q		
		金額	前期比	金額	前期比	進捗率
売上高	25,189	26,000	+3.2	20,144	1.8	77.5
営業利益	3,427	3,100	9.6	2,829	8.4	91.3
経常利益	3,539	3,200	9.6	2,888	8.5	90.3

3Qは親会社株主に帰属する四半期純利益、以下同じ

# 業績推移・・・売上高

- ・売上高は、リース・割賦事業の伸びにより増収
- ・2020/3期はファイナンス・リース資産、割賦債権、賃貸不動産が増加
- ・2021/3期は、積極的な営業資産積み上げの取組みにより前期比3.2%増収を予想

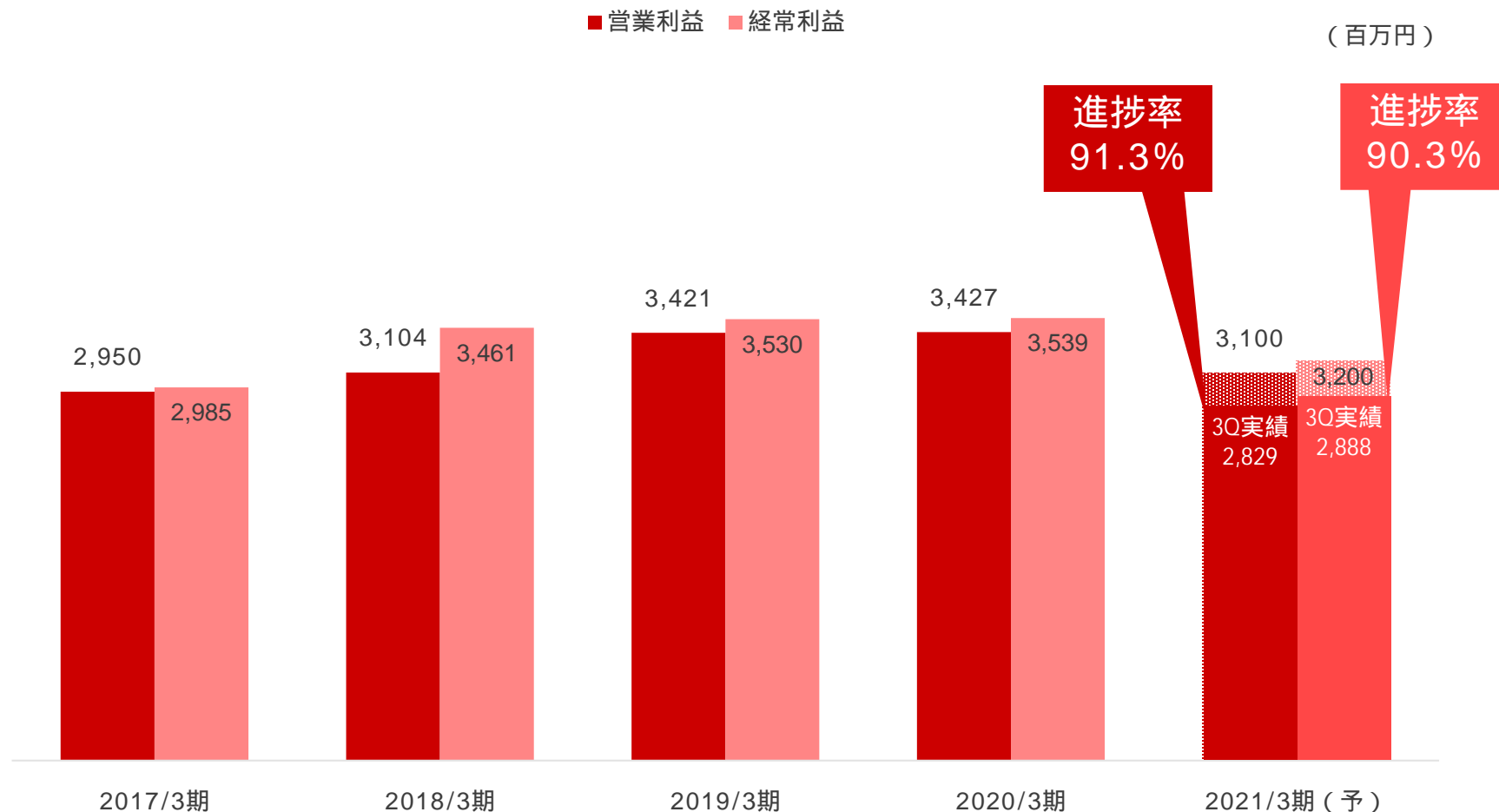
(百万円)



2021年3月期より環境ソリューションセグメントを新設  
(リース・割賦セグメントのLEDレンタル事業とその他の売電事業を括り直し)

# 業績推移・・・営業利益・経常利益

- ・ 営業利益・経常利益は、リース・割賦、不動産がけん引し、2020/3期まで増益トレンド
- ・ 2021/3期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し減益を予想

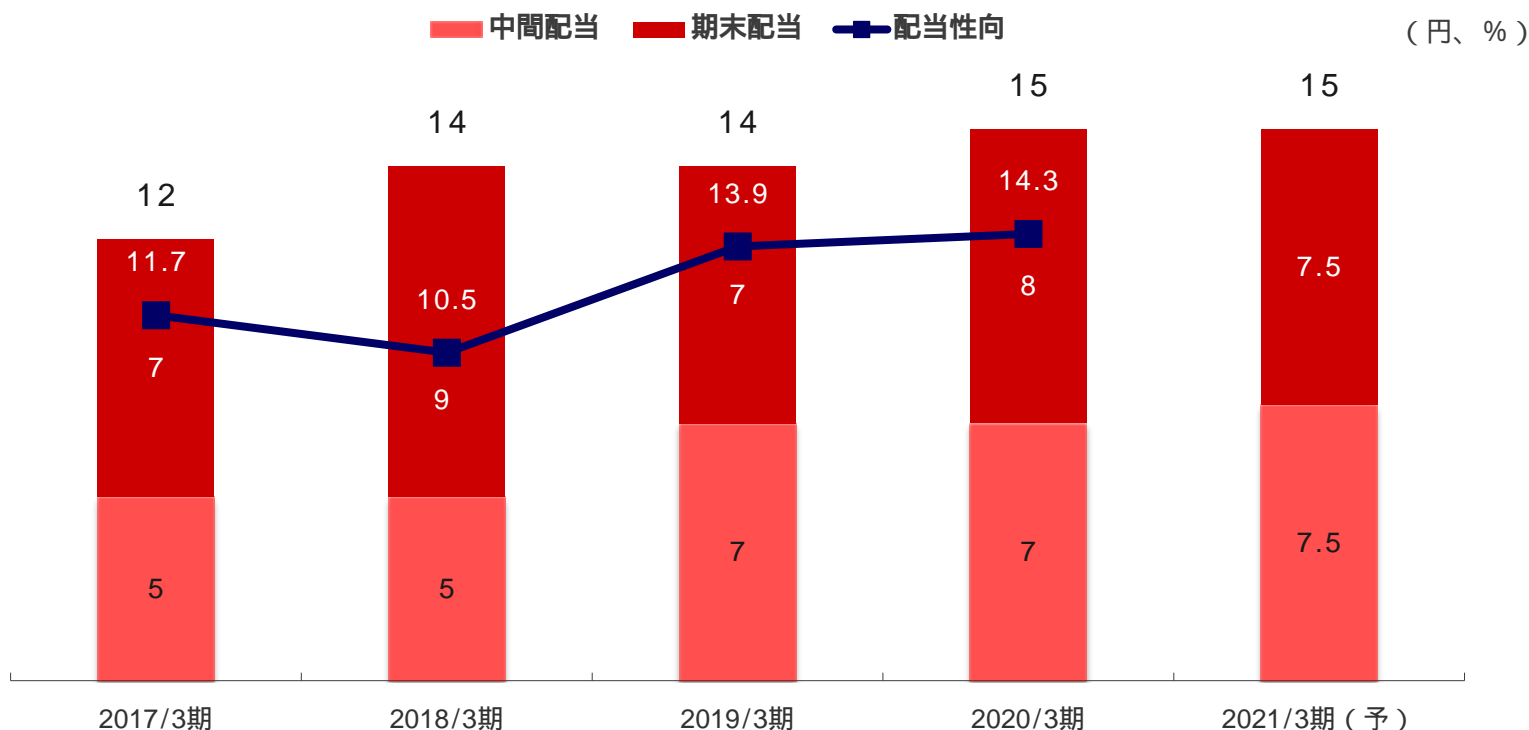


# 配当実績

## 配当の基本方針

内部留保の充実による  
財務体質の強化

安定的な配当の実施



### 【株主優待制度】

基準日	保有株数	優待内容	贈呈時期
3月末日	100株以上	クオカード 1,000円分	6月

# 【ご参考】当社株価の推移（2020年1月～）と各種指標



2021年3月16日株価 終値726円で計算

指 標	数 値	指 標	数 値
一株当たり純資産 (2020/3月期実績)	1,305.42円	実績PBR	0.56倍
一株当たり配当 (2021/3月期予想)	15円 (中間7.5円 期末7.5円)	配当利回り(予想) 【株主優待考慮】100株保有の場合	2.1% 3.4%
時価総額	188億円	最低投資金額	72,600円

# 【ご参考】当社株価の推移（2021年1月～）



## 【お問い合わせ先】

**株式会社九州リースサービス 総合企画部**

**TEL 092-431-2915**

**ホームページ <https://www.k-lease.co.jp/>**

### 本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。